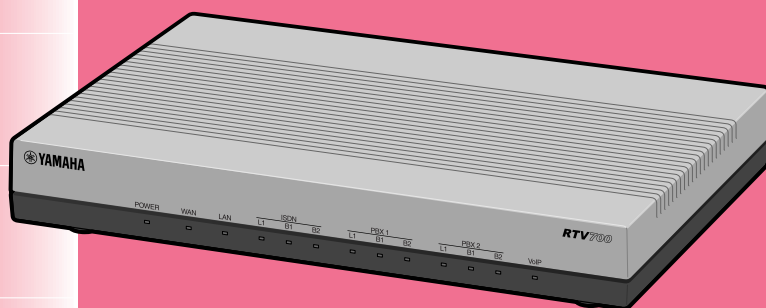




RTV700

ブロードバンドVoIPゲートウェイ



困ったときは

本機をお使いになる前に本書をよくお読みになり、正しく設置や設定を行ってください。本書中の警告や注意を必ず守り、正しく安全にお使いください。本書はなくさないように、大切に保管してください。

付属マニュアルのご案内

本機の機能を十分に活用していただくために、下記のマニュアルを用意致しました。目的にあわせてマニュアルをお選びください。また、いつでも参照できるように、大切に保管してください。

設定マニュアル



本機を使い始めるときに読むマニュアルです。

設置のしかたや設定のしかただけでなく、CATV/ADSLなどのブロードバンドルータ、ISDNルータとしての基本的な使いかたについて説明しています。

活用マニュアル



本機の機能を活用するために読むマニュアルです。

ビジネスホンシステムやPBX、電話、FAXとの接続や、ルータとしての代表的な使いかたについて、その解説と設定方法を説明しています。本機独自のNetVolanteインターネット電話機能などのインターネットを利用した音声通話(VoIP)については、この「活用マニュアル」をご覧ください。

困ったときは(本書)



本機のトラブル発生時の対策や、サポート窓口のご案内について、まとめて説明しています。

コマンドリファレンス



コマンドを使って高度な設定を行いたいときに読むマニュアルです。本機のコソールコマンドについて解説しています。

- 本書の記載内容を一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- 本書の記載内容は将来予告なく変更されることがあります。
- 本製品を使用した結果発生した情報の消失等の損失については、当社では責任を負いかねます。保証は本製品の物損の範囲に限ります。予めご了承ください。

問題を特定しましょう

現在起こっている問題は何ですか？

考えられる問題点は以下の項目に分類できます。あてはまる問題を選んで、次ページからの解決方法を試してみてください。

ISDN回線に接続した電話／FAX／
モデムが使えない

Q1 ▶

「かんたん設定ページ」で
設定できない

Q2 ▶

インターネットに接続できない

Q3 ▶

VoIP通話できない

Q4 ▶

PBXを接続して通話できない

Q5 ▶

その他の問題

(その他の機能が動作しない、サポート窓口のご案内など)

Q6 ▶

Q1 ISDN回線に接続した 電話／FAX／モデムが 使えない

- 本機の設定を変更してから電話／FAX／モデムが使えなくなった場合は、直前に行った設定に問題がある場合があります。
- ISDN回線を利用していない場合は、電話やFAX、モデムなどを本機に接続しても使用できません。

Check

1 POWERランプは点灯していますか？

▶点灯していない場合は..... 10ページへ

OK

2 ISDNランプは点灯していますか？

▶点灯していない場合は..... 10ページへ

OK

3 問題に合わせて、必要なページをご覧ください。

- ▶電話がかかけられない..... 13ページへ
- ▶電話が着信しない..... 13ページへ
- ▶FAXやモデムが使えない..... 14ページへ
- ▶ダイヤルイン着信しない..... 14ページへ
- ▶ナンバー・ディスプレイが使えない..... 14ページへ
- ▶疑似着信転送が使えない..... 15ページへ
- ▶外線と内線の三者通話、疑似三者通話が使えない..... 15ページへ
- ▶カスケード接続されたISDN回線が使えない..... 15ページへ
- ▶INSボイスワープが使えない..... 15ページへ
- ▶INSボイスワープの設定を変更できない..... 16ページへ
- ▶INSキャッチホンが使えない..... 16ページへ

Q2 「かんたん設定ページ」で 設定できない

本機の設定を変更してから「かんたん設定ページ」で設定できなくなった場合は、直前に行った設定に問題がある場合があります。

Check

- 1 POWERランプは点灯していますか？
▶点灯していない場合は 10ページへ
OK
- 2 LANランプは点灯していますか？
▶点灯していない場合は 11ページへ
OK
- 3 問題に合わせて、必要なページをご覧ください。
 - ▶「かんたん設定ページ」を表示できない 17ページへ
 - ▶「かんたん設定ページ」の表示画像が欠落したり、
表示に時間がかかる 18ページへ
 - ▶パスワードを入力しても「かんたん設定ページ」が
表示されない 18ページへ
 - ▶設定内容が元に戻ってしまう 18ページへ
 - ▶「かんたん設定ページ」を開く際に、Webブラウザに
パスワードを保存できない 18ページへ

次のページにつづく→

Q1

Q2

Q3

Q4

Q5

Q6

Q3 インターネットに 接続できない

本機の設定を変更してからインターネットに接続できなくなった場合は、直前に行った設定に問題がある場合があります。

Check

1 POWERランプは点灯していますか？

▶点灯していない場合は..... 10ページへ

OK

2 LANランプは点灯していますか？

▶点灯していない場合は..... 11ページへ

OK

3 ISDNランプ (ISDN回線接続時)、またはWANランプ (ブロードバンド回線接続時) は点灯していますか？

▶点灯していない場合は (ISDN) 10ページへ

▶点灯していない場合は (WAN) 11ページへ

OK

4 問題に合わせて、必要なページをご覧ください。

▶ダイヤルアップで接続できない 19ページへ

▶フレッツ・ISDNで接続できない 20ページへ

▶フレッツ・ADSLやBフレッツで接続できない 20ページへ

▶ホームページが表示されない／表示が遅い 20ページへ

▶128kbit/s (MP接続) で接続できない 22ページへ

Q4 VoIP通話できない

本機の設定を変更してからVoIP通話ができなくなった場合は、直前に行った設定に問題がある場合があります。

Check

- 1 POWERランプは点灯していますか？
▶点灯していない場合は 10ページへ
OK
- 2 LANランプは点灯していますか？
▶点灯していない場合は 11ページへ
OK
- 3 WANランプは点灯していますか？
▶点灯していない場合は 11ページへ
OK
- 4 問題に合わせて、必要な情報をご覧ください。
▶電話番号をダイヤルしても、話中音になってしまう 23ページへ
▶電話番号をダイヤルしても、何も音がしない
(30秒ほど経過すると、話中音となる) 23ページへ
▶VoIP通話が着信しない 23ページへ
▶VoIP通話で雑音が多い 24ページへ
▶電話番号をダイヤルしている途中で発信してしまう 24ページへ

Q1

Q2

Q3

Q4

Q5

Q6

Q5 PBXを接続して 通話できない

- 本機の設定を変更してから通話できなくなった場合は、直前に行った設定に問題がある場合があります。
- 本機にPBXを接続して、PBX経由でビジネスホン電話機から通話する場合には、本機の設定に問題がある場合と、PBX主装置の設定に問題がある場合の両方があります。
- 問題の切り分けのために、PBX主装置に接続されたビジネスホン電話機同士で内線通話できるかどうかを確かめてください。内線通話に問題があれば、PBX主装置側の設定に問題があることが考えられます。内線通話に問題がなければ、次のステップに進んでください。

5-1. ISDN外線電話ができない

Check

- 1 POWERランプは点灯していますか？
▶点灯していない場合は..... 10ページへ
OK
- 2 PBX(L1)ランプは点灯していますか？(PBXポート接続時)
▶点灯していない場合は..... 12ページへ
OK
- 3 ISDNランプは点灯していますか？
▶点灯していない場合は..... 10ページへ
OK
- 4 問題に合わせて、必要なページをご覧ください。
▶ビジネスホン電話機からISDN外線電話がかけられない..... 25ページへ
▶ISDN外線電話からの着信を、ビジネスホン電話機で受けられない..... 25ページへ
▶ダイヤルイン着信しない..... 26ページへ

5-2. VoIP通話ができない

Check

- 1 POWERランプは点灯していますか?
▶点灯していない場合は..... 10ページへ
OK
- 2 PBX (L1) ランプは点灯していますか? (PBXポート接続時)
▶点灯していない場合は..... 12ページへ
OK
- 3 LANランプは点灯していますか?
▶点灯していない場合は..... 11ページへ
OK
- 4 WANランプは点灯していますか?
▶点灯していない場合は..... 11ページへ
OK
- 5 問題に合わせて、必要なページをご覧ください。
▶電話番号をダイヤルしても、話中音になってしまう 27ページへ
▶電話番号をダイヤルしても、何も音がしない
(30秒ほど経過すると、話中音となる) 28ページへ
▶VoIP電話からの着信をビジネスホン電話機で受けられない 28ページへ
▶VoIP電話からの着信がダイヤルイン着信しない 29ページへ

Q6 その他の問題

その他の機能が動作しない、サポート窓口を確かめたい、など

- ▶本機やパソコンで、NTPサーバを使った時刻合わせができない..... 30ページへ
- ▶ネットボランチDNSサービスでホストアドレスを取得できない 30ページへ
- ▶PPTPを利用したリモートアクセスやLAN間接続ができない. 30ページへ
- ▶カスケード接続機能で通話できない 30ページへ
- ▶通信料金に異常がある/接続操作をしていないのにインターネットに接続してしまう 31ページへ
- ▶パスワードを忘れてしまった 36ページへ
- ▶本機の設定を工場出荷状態に戻したい
→活用マニュアル98ページをご覧ください
- ▶最新情報の入手先は? 37ページへ
- ▶最新の機能を利用する (リビジョンアップ)
→活用マニュアル139ページをご覧ください
- ▶本機の保証サービスについて 37ページへ
- ▶サポート窓口のご案内 38ページへ
- ▶付録:切断コード一覧 39ページへ

Q1

Q2

Q3

Q4

Q5

Q6

ランプの状態を確かめましょう

症状▶	原因▶	対策
ランプがひとつも点灯しない	本機の電源が入っていない	POWER(電源)スイッチを「ON」にして、電源を入れる。
	電源コードがコンセントに接続されていない	コンセントから外れているときは、正しく差し込み直す。
	主ブレーカーや配線別ブレーカーが切れている	<ul style="list-style-type: none">• ブレーカーが「切」になっている場合は、「入」にする。• ブレーカーが「入」になっている場合は、1度「切」にしてから「入」にし直す。
	停電している	停電中は、復旧するまでお待ちください。
	コンセントに電気が来ていない (他の電気製品も使えない)	<ul style="list-style-type: none">• 他の製品が動かないときは、コンセントや電気配線の修理を依頼してください。• 他の製品が動くときは、本機の修理を依頼してください。
ISDNランプが点灯しない	ISDN回線の契約内容と接続方法が合っていない	<ul style="list-style-type: none">• ISDN Uポートに接続している場合は、「かんたん設定ページ」で内蔵DSUを「使用する」に設定されているかどうか確認する(活用 97ページ)。 すでに内蔵DSUを「使用する」に設定されている場合は、ISDN Uポートの極性を現在の設定とは逆の設定にする。• ISDN S/Tポートに接続している場合は、「かんたん設定ページ」で内蔵DSUを「使用しない」に設定する(活用 97ページ)。• DSUや、内蔵DSUを使用しているISDN機器の電源が入っているか確認する。
	ISDN回線に接続していない	<ul style="list-style-type: none">• 本機をアナログ回線のモジュラージャックではなく、ISDN回線のモジュラージャックに接続する。
	本機が誤動作している	<ul style="list-style-type: none">• 説明にしたがって本機を工場出荷状態に戻してから(活用 98ページ)、本機の設定をはじめからやり直す。• それでもISDNランプが点灯しない場合は、本機の修理を依頼してください。

症状▶	原因▶	対策
LANランプが点灯しない	HUBやパソコンの電源が入っていない	本機および本機に接続した機器の電源が入っていることを確認する。LANポートに機器を正しく接続しても、接続した機器の電源が入っていないときは、本機のLANランプは点灯しない。
	正しく接続されていない	本機側、パソコンおよびHUB側共にコネクタをいったん外してから、もう1度カチッとロックするまで差し込む。
	LAN用のケーブルを使っていない	<ul style="list-style-type: none"> • ISDNケーブルを使用していないかどうか確認する(コネクタ形状が全く同じなので注意が必要)。 • 他のLANケーブルと取り替えてみる。
	パソコンのLAN(ネットワーク)カードが正しく動作していない、または接続モードが本機と合っていない	<ul style="list-style-type: none"> • パソコンのLANボード(カード)が正しくインストールされ、正しく動作していることを確認する。 • パソコンのLANボード(カード)と本機の通信速度および接続モード(全二重/半二重)が合っているか確認する
WANランプが点灯しない	ADSLモデムやケーブルモデムの電源が入っていない	電源を入れる。
	ADSLモデムやケーブルモデムと正しく接続されていない	本機のWANポートおよびADSLモデムやケーブルモデムの配線をいったん外してから、もう1度カチッと音がするまで差し込む。
	正しいケーブルを使用していない	ADSLモデムやケーブルモデムとパソコンを接続するものと、同じタイプのケーブルで接続する。

ランプの状態を確かめましょう

症状▶	原因▶	対策
PBXランプが点灯しない PBX主装置のISDNインタフェースが、常時起動であるということを想定。呼毎起動のPBXを使用している場合は、回線未使用時にはPBX(L1)ランプが点灯しなくても正常動作の可能性がある。	PBX主装置の電源が入っていない	PBX主装置の電源を投入する。
	PBX主装置と本機が正しく接続されていない	<ul style="list-style-type: none">• PBX主装置を本機のPBXポート1または2へ正しく接続する。• モジュラーケーブルをいったん取りはずしてから、カチッと音がするまでしっかりと差し込む。• 他のモジュラーケーブルと取り替えてみる。
	LAN専用ケーブルなど、誤ったケーブルを使っている	正しいケーブル(RJ-45のISDNケーブル)を使って接続する。
	本機が誤動作している	<ul style="list-style-type: none">• 本機を工場出荷状態に戻してから、本機の設定をはじめからやり直す(活用98ページ)。• それでもPBX(L1)ランプが点灯しない場合は、本機の修理を依頼してください。

Q1 ISDN回線に接続した電話/FAX/モデムが 使えない

症状▶	原因▶	対策
電話がかけられない	アナログ機器の電源が入っていない	アナログ機器(電話機やFAX、モデムなど)に電源が必要な場合に、電源コードやACアダプタが抜けていないか、電源スイッチが「入」になっているかどうかを確認する。
	アナログ機器が正しく接続されていない	<ul style="list-style-type: none">モジュラーケーブルをいったん外して、カチッと音がするまでしっかりと差し込む。他のモジュラーケーブルと取り替えてみる。
	TELポートに実際に接続した機器と「かんたん設定ページ」のTELポートの設定内容が合っていない	<ul style="list-style-type: none">TELポートごとに設定した通りに、アナログ機器を接続し直す。「かんたん設定ページ」を開き、電話の設定内容を確認する(活用 14ページ)。
	同時に2つの機器を使用している	ISDN回線を使用したインターネット接続と電話機を同時に使用している場合は、ISDNの2チャンネルとも使用中になるため、それ以上電話をかけられない。アナログ機器は2つ接続できるが、同時に使えるのは、ルータの接続を含めて2通話まで。
	擬似着信転送または擬似通信中転送で2チャンネルを使っている	受話器を上げて「ブザー、ブザー」という音が聞こえるときは、フッキングして強制切断する。
	αACRやsuperACRなどのACR(自動電話会社接続機能)を利用している	ダイヤルの桁間隔時間(秒)(機能番号41)を9秒以上に設定する(活用 19ページ)。
電話が着信しない	アナログ機器の電源が入っていない	アナログ機器(電話機やFAX、モデムなど)に電源が必要な場合に、電源コードやACアダプタが抜けていないか、電源スイッチが「入」になっているかどうかを確認する。
	アナログ機器が正しく接続されていない(相手は呼出音)	<ul style="list-style-type: none">モジュラーケーブルをいったん外して、カチッと音がするまでしっかりと差し込む。他のモジュラーケーブルと取り替えてみる。
	何も接続していないTELポートがある(相手は呼出音)	機器を接続していないTELポートは、電話機能設定の「TELポート使用制限の設定(機能番号14)」を「使用しない」に設定する(活用 19ページ)。

次のページにつづく→

症状▶	原因▶	対策
電話が着信しない (つづき)	同時に2つの機器を使用している (相手はビジー音)	ISDN回線を使用したインターネット接続と電話機を同時に使用している場合は、ISDNの2チャンネルとも使用中になるため、それ以上電話を受けられない。アナログ機器は2つ接続できるが、同時に使えるのは、ルータの接続を含めて2通話まで。
	同じ回線に他のISDN機器が 接続されている(相手は呼出音)	他のISDN機器が応答していないか確認する。
	着信転送が設定されている (相手は別の電話機につながる)	着信転送を解除する。着信転送が設定されていると、着信が転送されます(活用 73ページ)。
	使用している電話機がナンバー・ ディスプレイに対応していない	<ul style="list-style-type: none"> 電話機がナンバー・ディスプレイ非対応の場合は、電話機能設定の「ナンバー・ディスプレイ機能(機能番号39)」を「使用しない」に設定する(活用 77ページ)。 電話機がナンバー・ディスプレイ対応の場合は、電話機能設定の「ナンバー・ディスプレイ機能(機能番号39)」を「使用する」に設定する(活用 77ページ)
FAXやモデムが 使えない	通話音量が大きすぎる/小さすぎる	話音量が大きすぎたり、小さすぎたりすると、通信ができないことがある。「かんたん設定ページ」や電話機から電話機能設定の「送話PADの音量設定(機能番号61)」「受話PADの音量設定(機能番号62)」で値を変更する。
	アースコードが接続されていない	アースコードが正しく接続されていないと、通信にノイズが入り、つながりにくくなることもある。必ず、アースコードで本機のアース端子とコンセントのアース(接地)端子を接続する
ダイヤルイン着信しない	回線番号ごとに電話番号、ダイヤルインの設定が正しく行われていない	「電話の設定」-「ISDN電話の設定」-「TEL1(TEL2)ポートの設定」-「基本設定」画面で、正しく設定する(活用 81ページ)
ナンバー・ディスプレイ が使えない	ナンバー・ディスプレイを使用しない設定になっている	「電話が着信しない」(前ページ)を参照して、正しく設定する。
	使用している電話機がナンバー・ディスプレイに対応していない	「電話が着信しない」(前ページ)を参照して、正しく設定する。

症状▶	原因▶	対策
擬似着信転送が使えない	<p>擬似着信転送が使えるように設定をしていない</p> <p>擬似着信転送するTELポートを誤って指定している</p>	<p>擬似着信転送をするための設定を行う(活用 72ページ)。</p> <p>TELポートごとに異なる転送先アドレスを設定する場合は、それぞれのポートを指定して着信させるようにi・ナンバーやダイヤルイン番号を設定する(活用 80～81ページ)。</p>
外線と内線の三者通話、擬似三者通話が使えない	もう1つのTELポートで外線と内線の三者通話あるいは擬似三者通話している	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機で接続できる外線と内線の三者通話あるいは擬似三者通話は合わせて1接続のみ。 ● もう1つのTELポートの三者通話が終了してから、外線と内線の三者通話あるいは擬似三者通話を行う。
カスケード接続されたISDN回線が使えない	カスケード接続機能と外線と内線の切り替え通話や三者通話、あるいは擬似の切り替え通話や三者通話を併用している	外線と内線の切り替え通話や三者通話、あるいは擬似の切り替え通話や三者通話を終了する。
INSボイスワープが使えない 「あなたがおかけになった電話番号は、現在ご利用いただけません」とアナウンスが流れる	<p>INSボイスワープを契約していない</p> <p>INSボイスワープが使えるように設定をしていない</p> <p>発信者番号を通知していない</p> <p>INSボイスワープを契約した電話番号とは異なる電話番号を、発信者番号として通知している</p>	<p>ご利用の電話会社へINSボイスワープを申し込む(有料)。詳しくは、ご利用の電話会社にお問い合わせください。</p> <p>「INSボイスワープサービスで利用可能な番号」(次ページ)を参照して、電話局側のINSボイスワープの設定を開始(使用する)にする。</p> <p>ダイヤルイン、i・ナンバー、代表取扱サービスなどを契約した回線でINSボイスワープの設定を変更するには、INSボイスワープを契約した電話番号を交換機に通知する必要がある。「電話の設定」-「ISDN電話の設定」-「TEL1(TEL2)ポートの設定」-「基本設定」画面で電話番号を正しく入力して、回線番号を通知するように設定する(活用 74ページ)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「電話の設定」-「ISDN電話の設定」-「TEL1(TEL2)ポートの設定」-「基本設定」画面で電話番号を正しく入力して、回線番号を通知するように設定する(活用 74ページ)。 ● TELポートごとに異なる電話番号を割り当てている場合は、INSボイスワープを契約した電話番号を割り当てているTELポートに接続した電話機から、必要な操作を行う。

Q1 ISDN回線に接続した電話/FAX/モデムが使えない

症状▶	原因▶	対策
INSボイスワープの設定 を変更できない 「142」をダイヤルしても、 設定が変更できない	アナログ回線用のボイスワープと 同じ操作を行っている	<ul style="list-style-type: none">• ISDN回線用のボイスワープの操作は、アナログ回線用の操作と異なる。「INSボイスワープサービスで利用可能な番号」(次項)を参照して、正しい操作を行う。• ISDN回線の場合はアナログ回線と異なり、「142」をダイヤル後に音声ガイダンスを待たずに続けてダイヤルする。転送サービスを開始する場合の例：「14211」と続けてダイヤルする。
	INSボイスワープサービスで 利用可能な番号	<ul style="list-style-type: none">• 転送サービスを停止する場合 「1420」• 転送サービスを開始する場合 「14211」…無条件転送 「14212」…無応答時転送 「14213」…話中時転送 「14214」…無応答時および話中時転送• 転送サービスの開始/停止の確認をする場合 「1428」• サービス設定を行う場合 「1422」、「1423」、「1424」• リモートコントロールで設定する場合 「1427」
INSキャッチホンが 使えない	INSキャッチホンを契約していない	ご利用の電話会社へINSキャッチホンを申し込む(有料)。詳しくは、ご利用の電話会社にお問い合わせください。
	話中の着信通知が「しない」に 設定されている	「電話の設定」-「ISDN電話の設定」-「TEL1 (TEL2)ポートの設定」-「着信機能設定」画面で、話中の着信通知を「する」に設定する(活用 64ページ)。
	INSキャッチホンが使用「しない」に 設定されている	「電話の設定」-「ISDN電話の設定」-「フレックスホンの共通設定」画面で、「INSキャッチホン」を使用「する」に設定する(活用 64ページ)。

Q2 「かんたん設定ページ」で 設定できない

症状▶	原因▶	対策
「かんたん設定ページ」を表示できない	本機がパソコンを認識していない (LANランプが点灯していない)	「LANランプが点灯しない」(11ページ)の説明に従って、問題を解決する。
	パソコンのネットワーク設定が不適切 (LAN上の他のパソコンやネットワークプリンタも使用できない)	<ul style="list-style-type: none">• LANボードやLANカードの設定をやり直して、パソコンを再起動する。• Windowsの場合は、IPアドレスをリセットする(活用) 145ページ)。• Macintoshの場合は、「TCP/IP」コントロールパネルの[経由先]を[Ethernet]、[設定方法]を[DHCPサーバを参照]に設定してから、設定を保存する。
	本機が誤動作している	本機を初期状態に戻してから、設定をやり直す(活用) 98ページ)。
	本機のIPアドレスを変更した	<ul style="list-style-type: none">• 本機に設定したIPアドレス「http://(本機のIPアドレス)」にアクセスする。• 本機とLANに接続しているすべてのパソコンを再起動する。再起動または電源を切ることができないときは、パソコンを1台だけ本機に接続し、それ以外のLANケーブルを取り外してから、本機とパソコンの電源を入れる。• パソコンの設定が同じIPアドレス範囲になっているか、他の機器とIPアドレスが重なっていないか確認する。
	ルータのURLが不適切である	本機を初めて使うときや工場出荷状態に戻した後は、「http://192.168.100.1/」にアクセスする。
	パソコンのWebブラウザの接続経路設定が、LAN経由になっていない	Windows版Internet Explorer6の場合、[インターネットオプション]の[接続]タブでダイヤルアップ接続をする設定になっていると、「かんたん設定ページ」にアクセスできないので、[ダイヤルしない]に変更する。
	パソコンのWebブラウザでProxy(プロキシ)サーバを使用している	<ul style="list-style-type: none">• プロキシの設定が正しくないと、「かんたん設定ページ」が表示できなくなる。• Windows版Internet Explorer6の場合：メニューから[ツール]→[インターネットオプション]→[接続]タブ→[LANの設定]を開き、[プロキシサーバを使用する]のチェックをはずす。

次のページにつづく→

Q1

Q2

Q2 「かんたん設定ページ」で設定できない

症状▶	原因▶	対策
「かんたん設定ページ」を表示できない(つづき)	パソコンをWebブラウザ経由で遠隔操作している	<ul style="list-style-type: none">IPアドレスによるアクセス制限機能が働いていると、許可されていないホストからのアクセスに対しては、「Error503 This server is available to members only. I'm sorry, your host is not member.」と表示される。遠隔操作する場合は、「HTTPの利用を許可するホスト」の設定を変更する(活用) 95ページ)。
「かんたん設定ページ」の表示画像が欠落したり、表示に時間がかかる	使用しているパソコンに、トレンドマイクロ株式会社製の「ウィルスバスター2000」がインストールされている	ウィルスバスター2000のメニューから、[ファイル]→[WebTrap]→[WebTrap]にある[WebTrapを有効にする]のチェックと、[ファイル]→[WebTrap]→[WebFilter]の[WebFilterを有効にする]のチェックをはずす。(ウィルスバスター2002をインストールしたパソコンでは、本現象は確認されていません。) WebTrapおよびWebFilter機能の設定を変更した場合は、本機の設定終了後にWebTrap機能とWebFilter機能の設定を元に戻してください。
パスワードを入力しても「かんたん設定ページ」が表示されない	パスワードが間違っている (パスワードエラーが表示される)	<ul style="list-style-type: none">パスワードは、全角/半角や大文字/小文字の違いも区別される。必ず半角の英数字で大文字/小文字まで正確に入力する。Webブラウザに認証情報(ユーザ名、パスワード)が残っていると、それを自動的に送信するため、エラーになる場合がある。ユーザ名を削除してからパスワードを入力し直すか、ブラウザをいったん終了してから「かんたん設定ページ」を開き直す。
	ログインパスワードでは「かんたん設定ページ」にアクセスできない	パスワードを設定している場合は、管理パスワードを入力する
設定内容が元に戻ってしまう	設定後に[設定の確定]をクリックしていない	「かんたん設定ページ」で設定を変更したときは、必ず[設定の確定]をクリックして設定を保存する。[設定の確定]をクリックせずに[トップに戻る]をクリックしたり画面を閉じたりすると、設定内容は保存されない。
「かんたん設定ページ」を開く際に、Webブラウザにパスワードを保存できない	「ネットワークパスワードの入力」画面で、ユーザ名を空欄にしている	Webブラウザによっては、パスワードを保存するためにユーザ名の入力が必要な場合がある。この場合は、任意の文字列を入力する。

Q3 インターネットに接続できない

症状▶	原因▶	対策
ダイヤルアップで接続できない	本機がISDN回線を認識していない (ISDNランプが点灯していない)	「ISDNランプが点灯しない」(10ページ)の説明に従って、問題を解決する。
	本機に接続できない (パソコンから「かんたん設定ページ」を開けない)	<ul style="list-style-type: none">• パソコンを再起動する。• Windowsの場合は、IPアドレスをリセットしてから、もう1度接続してみる。「かんたん設定ページ」を表示できない」(17ページ)の説明に従って、問題を解決する。
	自動接続先のプロバイダ情報が登録されていない	<ul style="list-style-type: none">• 「かんたん設定ページ」で接続するプロバイダの情報を設定する。• 「かんたん設定ページ」の「詳細設定と情報」-「自動接続先/複数プロバイダ接続の設定」で自動接続設定を「ひとつのプロバイダに接続する」にしてから、接続するプロバイダを選ぶ。
	同時に2つの機器を使用している (ISDN回線接続時のみ)	<ul style="list-style-type: none">• アナログ機器で2チャンネル分を使っている場合は、インターネットへ接続できない。アナログ機器の回線使用状態を確認する。
	再発信規制により、発信が制限されている	1分程度、時間をおいてからかけ直す。
	累積料金が接続制限値を超えている	プロバイダ累積料金や累積接続時間、累積発信回数が接続制限値に達していると、プロバイダに接続できなくなる。意図しない接続や異常課金がないことを確認してから、「かんたん設定ページ」でプロバイダの累積料金をリセットすると、接続できるようになる(活用) 118ページ)。
	プロバイダの電話番号が間違っている (「かんたん設定ページ」のトップページに、「接続できませんでした。電話番号を確認してください」と表示される)	番号違いやアナログ専用アクセスポイントの電話番号の場合は、接続できない。プロバイダの接続情報書類を確認し、「プロバイダの登録/修正」画面で正しいプロバイダの通信速度とISDN対応電話番号を入力し直す。
	ユーザIDまたはパスワードが間違っている (「かんたん設定ページ」のトップページに、「IDまたはパスワードの認証に失敗しました」と表示される)	<ul style="list-style-type: none">• プロバイダの接続情報書類を確認して、正しいユーザIDとパスワードを入力し直す。• プロバイダの認証サーバが混雑していると、接続に失敗することがある。しばらく時間をおいてから、アクセスし直す。

Q2

Q3

[次のページにつづく→](#)

Q3 インターネットに接続できない

症状▶	原因▶	対策
ダイヤルアップで接続できない(つづき)	アクセスポイントが混雑している (「かんたん設定ページ」のトップページに、「相手が話中です」と表示される)	<ul style="list-style-type: none">• プロバイダのアクセスポイントが混雑している。しばらく時間をおいてから、かけ直す。• プロバイダのアクセスポイントのISDN対応電話番号を、もう1度確認する。• 他のアクセスポイントがある場合は、別の番号を設定してみる
フレッツ・ISDNで接続できない	本機がISDN回線を認識していない (ISDNランプが点灯していない)	「ISDNランプが点灯しない」(10ページ)の説明に従って、問題を解決する。
	フレッツ・ISDN契約していない	フレッツ・ISDN契約しているかどうかを確認する。
	電話番号が間違っている	NTTから指定された、フレッツ・ISDN専用の電話番号「1492」を指定する。
	本機にISDN番号を登録していない	フレッツ・ISDN契約した電話番号を本機に登録しないと、接続できない。設定マニュアルの60ページからの操作をやり直して、正しく設定する。
フレッツ・ADSLやBフレッツで接続できない	ユーザIDまたはパスワードが間違っている	<ul style="list-style-type: none">• プロバイダから指定されたユーザIDに加えて、プロバイダ名まで指定する必要がある(例:username@xxx.ne.jp)。• フレッツ・ISDNとプロバイダの設定資料を参照して、正しく入力する
	本機がブロードバンド回線を認識していない(WANランプが点灯していない)	• 「WANランプが点灯しない」(11ページ)の説明に従って、問題を解決する。
フレッツ・ADSLやBフレッツで接続できない	ユーザIDまたはパスワードが間違っている	<ul style="list-style-type: none">• プロバイダから指定されたユーザIDに加えて、プロバイダ名まで指定する必要がある(例:username@xxx.ne.jp)。• フレッツ・ADSL(またはBフレッツ)とプロバイダの設定資料を参照して、正しく入力する
	本機がブロードバンド回線を認識していない(WANランプが点灯していない)	• 「WANランプが点灯しない」(11ページ)の説明に従って、問題を解決する。
ホームページが表示されない/表示が遅い	プロバイダ設定のDNSサーバアドレスが間違っている	<ul style="list-style-type: none">• プロバイダ接続設定にDNSサーバアドレスが設定されているか確認する。• 各パソコンのDNSサーバアドレス設定に本機のIPアドレスを入力してから、パソコンを再起動する。• WebサーバやDNSサーバが混雑または停止している可能性がある。しばらく時間をおいてから、アクセスし直す。

症状▶	原因▶	対策
ホームページが表示されない／表示が遅い(つづき)	本機のフィルタが動作している	プロバイダから与えられたIPアドレスがプライベートアドレスで、ファイアウォールなどのセキュリティフィルタを適用している場合は、セキュリティレベルを2か4、または6に変更する(活用 90ページ)。
	回線の種類に問題がある (PPPoE方式ADSL接続時のみ)	ADSL回線の種類によっては、標準的な設定のままでは、一部のホームページのデータが受信できないか、データの受信が非常に遅くなることもある。 いったん接続を切断してから、「かんたん設定ページ」の「詳細設定と情報」→「基本接続の詳細な設定」→「プロバイダの登録／修正」画面でMTUに1454などの値を設定して、接続し直す。
	プロバイダから与えられたIPアドレスと本機に設定したIPアドレスが重複している	「かんたん設定ページ」の「LANの設定」画面で、本機のIPアドレスをプロバイダから与えられたものと重複しないアドレスに変更する(活用 96ページ)。この場合、本機のファイアウォール機能は再適用する必要がある。
	パソコンのネットワーク設定が不適切	<ul style="list-style-type: none"> • LANボードやLANカードの設定をやり直して、パソコンを再起動する。 • Windowsの場合は、IPアドレスをリセットする(活用 145ページ)。 • Macintoshの場合は、「TCP/IP」コントロールパネルの[経由先]を[Ethernet]、[設定方法]を[DHCPサーバを参照]に設定してから、設定を保存する。
	回線やプロバイダ、Webサーバが混雑している	時間帯などによっては、非常に遅くなる場合がある。回線速度に比べて非常に遅い状態が続く場合は、ご利用の回線業者やプロバイダにお問い合わせください。

Q3 インターネットに接続できない

症状▶	原因▶	対策
128kbit/s(MP接続)で接続できない	プロバイダとMP接続の契約をしていない	<ul style="list-style-type: none">• MP接続するには、プロバイダが対応している必要がある。ご利用のプロバイダへお問い合わせください。• プロバイダにより、別途MP接続契約が必要な場合がある。ご利用のプロバイダへお問い合わせください。 <p>ご注意</p> <p>MP接続に対応していないプロバイダに対して、MP接続の設定や発信は絶対に行わないでください。2チャンネル目が発信とエラーを繰り返し、多額の料金を請求される場合があります。</p>
	MP対応の電話番号以外にダイヤルしている	MP接続対応の電話番号(アクセスポイント)にかけないと、接続できない。プロバイダの接続情報書類を確認し、MP接続対応の電話番号に設定し直す。
	端末型プロバイダ接続の設定で、MPを使用する設定になっていない	「かんたん設定ページ」の「詳細設定と情報」-「基本接続の詳細な設定」-「プロバイダの登録/修正」画面で「MPを使用する」を選ぶ(活用)119ページ)
	「MP関連」の設定で「通信の負荷に応じてチャンネル数を増減させる」を選んでいる	「通信の負荷に応じてチャンネル数を増減させる」を選んでいる場合、通常は1チャンネルのみ接続される。データ通信量が多くなると、自動的に2チャンネル接続される。

Q4 VoIP通話できない

症状▶	原因▶	対策
電話番号をダイヤルしても、話中音になってしまう	VoIP通話を利用できない設定になっている	<ul style="list-style-type: none">• 「電話の設定」－「VoIPの設定」－「VoIPの基本設定」－「VoIPの共通設定」画面で、「VoIP機能」を「使用する」に設定する。• 「電話の設定」－「VoIPの設定」－「VoIPの基本設定」－「TEL1 (TEL2) ポートの設定」画面で、対応するTELポートの「VoIP機能」を「使用する」に設定する。
	必要な識別番号(プレフィックス)をダイヤルしていない	<ul style="list-style-type: none">• 設定したプレフィックスをダイヤルしてから、NetVolanteインターネット電話番号をダイヤルする。• 「電話の設定」－「VoIPの設定」－「VoIPの基本設定」－「VoIPの共通設定」画面で、プレフィックスの番号を適切な番号に変更する。
	ネットボランチ電話番号の場合、ダイヤルした番号が間違っている	相手の正しいネットボランチ電話番号をダイヤルする
	ネットボランチ電話番号の場合、相手がネットワークに繋がっていない	相手がネットワークに繋がっていることを確認してから電話する。
	電話番号がインターネット電話帳に登録されていない	<ul style="list-style-type: none">• 登録されている電話番号をダイヤルする。• 新たに電話番号を登録する。
	インターネット電話帳の相手のアドレスが間違っている	インターネット電話帳に正しいアドレスで登録し直す。
電話番号をダイヤルしても、何も音がしない(30秒ほど経過すると、話中音となる)	相手が着信を拒否している	インターネット電話帳に登録されている内容のユーザ名が正しいかどうか確認し、修正する。
	インターネット電話帳の相手のアドレスが間違っている	インターネット電話帳に正しいアドレスで登録し直す。
VoIP通話が着信しない	相手がネットワークに接続していない	相手がネットワークに繋がっていることを確認してから電話する。
	VoIP通話を利用できない設定になっている	<ul style="list-style-type: none">• 「電話の設定」－「VoIPの設定」－「VoIPの基本設定」－「VoIPの共通設定」画面で、「VoIP機能」を「使用する」に設定する。• 「電話の設定」－「VoIPの設定」－「VoIPの基本設定」－「TEL1 (TEL2) ポートの設定」画面で、対応するTELポートの「VoIP機能」を「使用する」に設定する。

次のページにつづく→

Q3

Q4

Q4 VoIP通話できない

症状▶	原因▶	対策
VoIP通話が着信しない (つづき)	インターネット電話着信時の宛先ユーザ名が、着信できないユーザ名になっている	<ul style="list-style-type: none">• 「電話の設定」-「VoIPの設定」-「VoIPの基本設定」-「TEL1 (TEL2) ポートの設定」画面で、対応するTELポートの「着信許可」を「すべて許可」に設定する。• 通信相手に自分が設定しているユーザ名を知らせ、そのユーザ名宛に発信してもらうようにする。
VoIP通話で雑音が多い	他に帯域を大幅に使用する通信 (ストリーミング配信など) を行っている	<ul style="list-style-type: none">• 通信を終了してから、VoIP通話で電話をかける。• 「電話の設定」-「VoIPの設定」-「VoIPの基本設定」-「VoIPの共通設定」画面で、「QoS」を「VoIPを優先する／送信帯域を制限する」に設定する。• 他の通信で使用する帯域がアプリケーションで設定可能であれば、使用する帯域を少なくする。
	相手との間に帯域の狭い経路が存在する	<ul style="list-style-type: none">• 複数のサービスと契約している場合は、サービスを変えてみる。• 時間帯を変えて、通話をためす。
電話番号をダイヤルしている途中で発信してしまう	先にダイヤル途中で発信してしまった番号が、今ダイヤルしている番号の最初に含まれている (その番号までを入力した時点で発信してしまう)	「かんたん設定」の「電話の設定」-「ISDN 電話の設定」-「TEL1 (TEL2) ポートの設定」-「電話機対応機能設定」の「相手番号による即時発信」で設定を変更する。

Q5 PBXを接続して通話できない

症状▶	原因▶	対策
ビジネスホン電話機からISDN外線電話がかけられない	PBX主装置が接続されているPBXポートまたはTELポートについての設定が、「使用しない」または「着信専用」になっている	「電話の設定」-「ISDN電話の設定」-「PBX 1(2)ポートの設定」画面、または「電話の設定」-「ISDN電話の設定」-「TEL 1(2)ポートの設定」-「基本設定」画面で、対応するポートの設定を「発信、着信で使用」または「発信専用」に変更する。
	本機に接続した回線を捕捉して発信していない	本機に接続されたPBXポートまたはTELポートに接続されている回線を捕捉する操作(外線ボタンを押す、など)をしてから、発信する。
	PBX主装置のアナログ回線仕様と「かんたん設定ページ」のTELポートの設定内容が合っていない(TELポート経由でPBX主装置を接続した場合)	「電話の設定」-「ISDN電話の設定」-「TEL 1(2)ポートの設定」-「基本設定」画面で、電話の設定内容を確認する。
	プレフィックスを設定している	<ul style="list-style-type: none">● 発信時のプレフィックス(識別番号)が設定されていると、最初にその番号をダイヤルしないと外線発信にならない。プレフィックスが設定されているときは、相手先番号の前にプレフィックスをダイヤルしてから、相手先番号をダイヤルする。● 「電話の設定」-「VoIPの設定」-「VoIPの基本設定」-「VoIPの共通設定」画面で、プレフィックスの設定内容を確認する。● PBXによっては、(✳)や(☎)は(即時発信などの)特別なキーとして機能するものがある。その場合は、(✳)や(☎)を含むプレフィックスは使用できない。(✳)や(☎)を含まない別のプレフィックスに設定し直す。
	同時に2台で電話している	2台の電話機から同時に電話をするとISDNの2チャンネルとも使用中になるため、それ以上電話をかけられない。使用が終わるまで待つ。
	疑似着信転送または疑似着信転送中で2チャンネル分を使っている	受話器を上げて「ブザー、ブザー」という音が聞こえるときは、フッキングして強制切断する。
ISDN外線電話からの着信を、ビジネスホン電話機で受けられない	PBX主装置が接続されているPBXポートまたはTELポートの設定が、「使用しない」または「発信専用」になっている。	「かんたん設定ページ」を開き、対応するポートの設定を、「発信、着信で使用」かまたは「着信専用」に変更する。

次のページにつづく→

Q4

Q5

症状▶	原因▶	対策
ISDN外線電話からの着信を、ビジネスホン電話機で受けられない(つづき)	PBX主装置と本機が正しく接続されていない	<ul style="list-style-type: none"> • PBX主装置を本機のPBXポートまたはTELポートへ正しく接続する。 • モジュラーケーブルをいったん取りはずして、カチッと音がするまでしっかりと差し込む。 • 他のモジュラーケーブルと取り替えてみる。
	本機のISDNポートにISDN回線が正しく接続されていない	<ul style="list-style-type: none"> • ISDN回線を本機のISDN UポートまたはS/Tポートへ正しく接続する。 • モジュラーケーブルをいったん取りはずして、カチッと音がするまでしっかりと差し込む。 • 他のモジュラーケーブルと取り替えてみる。
	何も接続していないPBXポートまたはTELポートがある(相手は呼出音)	<ul style="list-style-type: none"> • 本機は着信に対し、PBXポート1→PBXポート2→TELポート1→TELポート2の順に順次空きを探し、その時点で空いている1つのチャンネルに対して着信鳴動を行うため、未接続状態のポートがあると、その先のポートへは着信鳴動しない。 • 「かんたん設定ページ」を開き、使用しないすべてのポートについて、設定を「このポートを使用しない」に変更する。
	同時に3台以上の電話機から使用している(相手はビジー音)	2台の電話機から同時に電話をするとISDNの2チャンネルとも使用中になるため、それ以上電話をかけられない。使用が終わるまで待つ。
	ISDN回線に本機以外に他のISDN機器が接続されている(相手は呼出音)	他のISDN機器が応答していないか確認する。
	着信転送が設定されている(相手は別の電話機につながる)	着信転送を解除する(活用 73ページ)。
	PBX主装置に、外線から通知される着信番号とは異なる番号・サブアドレスでダイヤルインの設定がされている	PBX主装置の、ダイヤルインの設定を解除する。
ダイヤルイン着信しない	PBX主装置にダイヤルインの設定が正しく行われていない	PBX主装置にダイヤルインの設定を正しく行う。(PBX主装置のマニュアルを参照してください)
	本機にダイヤルインの設定が正しく行われていない(TELポート)	本機のTELポートにPBX主装置を接続している場合は、「かんたん設定ページ」から正しい設定を行う(活用 80ページ)。

症状▶	原因▶	対策
ダイヤルイン着信しない (つづき)	本機にダイヤルインの設定が正しく行われていない(PBXポート)	PBXポート1と2の両方を使用してPBX主装置に接続して、PBXポート1の回線とPBXポート2の回線のそれぞれに個別のダイヤルイン番号を使い分ける場合は、PBX主装置側の設定のほかに、本機に対してもダイヤルインの設定を行う必要がある(活用) 84ページ)。
電話番号をダイヤルしても、話中音になってしまう	PBX主装置が接続されているPBXポートまたはTELポートについての設定が、「使用しない」または「着信専用」になっている	「かんたん設定ページ」を開き、対応するポートの設定を、「発信、着信で使用」かまたは「発信専用」に変更する。
	VoIP通話が利用できない設定になっている	<ul style="list-style-type: none"> 「電話の設定」-「VoIPの設定」-「VoIPの基本設定」-「VoIPの共通設定」画面で、「VoIP機能」を「使用する」に設定する。 「電話の設定」-「VoIPの設定」-「VoIPの基本設定」-「TEL1(TEL2)ポートの設定」画面で、対応するTELポートの「VoIP機能」を「使用する」に設定する。
	プレフィックスをダイヤルしていない	<ul style="list-style-type: none"> VoIP発信時のプレフィックス(認識番号)を、NetVolanteインターネット電話番号、あるいはインターネット電話帳に登録した相手先の電話番号の前にダイヤルして発信する。 「電話の設定」-「VoIPの設定」-「VoIPの基本設定」-「VoIPの共通設定」画面でプレフィックスの設定を「直接」に変更し、プレフィックスなしでVoIP発信ができるようにする。
	⑨を含むプレフィックスを使用している	本機の工場出荷状態では、VoIP発信用のプレフィックスは⑨⑨が設定されている。PBX主装置側で⑨を即時発信専用キーとして使用している場合は、⑨⑨をプレフィックスとして使うことができない。この場合は「電話の設定」-「VoIPの設定」-「VoIPの基本設定」-「VoIPの共通設定」画面で、⑨を含まない数字だけの番号に変更する。
	電話番号がインターネット電話帳に登録されていない	<ul style="list-style-type: none"> 登録されている電話番号をダイヤルする。 新たに電話番号を登録する。
	ネットボランチ電話番号の場合、ダイヤルした番号が間違っている	相手の正しいネットボランチ電話番号をダイヤルする。

次のページにつづく→

症状▶	原因▶	対策
電話番号をダイヤルしても、話中音になってしまう(つづき)	ネットボランチ電話番号の場合、相手がネットワークにつながっていない	相手がネットワークにつながっていることを確認してから電話する。
	相手が着信を拒否している	インターネット電話帳に登録されている内容のユーザ名が正しいかどうか確認し、修正する。
電話番号をダイヤルしても、何も音がしない (30秒ほど経過すると、話中音となる)	インターネット電話帳の相手のアドレスが間違っている	インターネット電話帳に正しいアドレスを登録し直す。
	相手がネットワークに接続していない	相手がネットワークにつながっていることを確認してから電話する。
VoIP電話からの着信を、ビジネスホン電話機で受けられない	PBX主装置が接続されているPBXポートまたはTELポートについての設定が、「使用しない」または「発信専用」になっている	「かんたん設定ページ」を開き、対応するポートの設定を、「発信、着信で使用」または「着信専用」に変更する。
	VoIP通話が利用できない設定になっている	<ul style="list-style-type: none"> • 「電話の設定」-「VoIPの設定」-「VoIPの基本設定」-「VoIPの共通設定」画面で、「VoIP機能」を「使用する」に設定する。 • 「電話の設定」-「VoIPの設定」-「VoIPの基本設定」-「TEL1(TEL2)ポートの設定」画面で、対応するTELポートの「VoIP機能」を「使用する」に設定する。
	何も接続していないPBXポートまたはTELポートがある(相手は呼出音)	<ul style="list-style-type: none"> • 本機は着信に対し、PBXポート1→PBXポート2→TELポート1→TELポート2の順に順次空きを探し、その時点で空いている1つのチャンネルに対して着信鳴動を行うため、未接続状態のポートがあると、その先のポートへは着信鳴動しない。 • 「かんたん設定ページ」を開き、使用しないすべてのポートについて、設定を「このポートを使用しない」に変更する。
	インターネット電話着信時の宛先ユーザ名が、着信できないユーザ名になっている	<ul style="list-style-type: none"> • 「かんたん設定ページ」を開き、対応するポートの着信許可設定を、「すべて許可」に変更する。 • 通信相手に自分が設定しているユーザ名を知らせ、そのユーザ名宛に発信してもらうようにする。
	PBX主装置に、外線から通知される着信番号とは異なる番号・サブアドレスでダイヤルインの設定がされている	PBX主装置の、ダイヤルインの設定を解除する。

症状▶

VoIP電話からの着信が
ダイヤルイン着信しない

原因▶

TELポートの着信サービスでダイヤルインを設定していない(TELポートで接続している場合)

対策

「電話の設定」-「VoIPの設定」-「VoIPの基本設定」-「TEL1 (TEL2)ポートの設定」画面で「着信サービスの登録」をクリックして、サービス種別をPBX主装置のダイヤルイン方式に合わせて設定する。

PBXポートの電話ユーザ名で、ダイヤルインを設定していない(PBXポートで接続している場合)

「電話の設定」-「VoIPの設定」-「VoIPの基本設定」-PBX1 (PBX2)ポートの設定」画面で、電話ユーザ名を適当なユーザ名に変更し、着信許可を「電話ユーザ名が一致した場合に許可」に変更する。

Q6 その他の問題

症状▶	原因▶	対策
本機やパソコンで、 NTPサーバを使った 時刻合わせができない	NTPサーバのIPアドレスや ドメイン名が間違っている	<ul style="list-style-type: none">• 入手したNTPサーバ情報と比較し、正しく設定されていることを確認する。• NTPサーバに対してpingを実行し、NTPサーバが稼動していることを確認する。
	登録されているNTPサーバへの 経路が設定されていない	プロバイダ設定や経路設定を確認する。
	本機のセキュリティフィルタが 動作している	<ol style="list-style-type: none">1 「かんたん設定ページ」の「詳細設定と情報」-「ファイアウォール設定」-「IPv4ファイアウォールの設定」画面で、「静的フィルタの一覧」の下部に表示されているNTPポート(ポート番号123)を通す(Pass)フィルタ(36 / 37番)の[入]と[出]の両方にチェックを付ける。2 セキュリティレベルを6または7にする(活用) 90ページ)。
ネットボランチDNS サービスでホスト アドレスを取得できない	プロバイダによっては、登録/更新して すぐに名前解決ができない場合がある	しばらく時間を置いてから、再度試してみる。
	ネットワーク型プロバイダ接続で 接続している	ネットワーク型プロバイダ接続で接続している場合は、ネットボランチDNSサービスは利用できない。IPアドレスを直接指定して接続する
	プロバイダからプライベート IPアドレスが割り当てられている	本機にグローバルIPが割り当てられていない環境では、ネットボランチDNSサービスは利用できない
PPTPを利用したリモート アクセスやLAN間接続が できない	プロバイダからプライベート IPアドレスが割り当てられている	本機にグローバルIPが割り当てられていない環境では、PPTP関連の機能は利用できない。
カスケード接続機能で 通話できない	接続されていない機器が、接続されてい るような設定になっている	アナログ親機側と子機側のルータをそれぞれ正しい設定に変更する(活用) 40~41ページ)。

Q6 通信料金に異常がある

料金情報や通信記録を見て使った覚えのない通話料金があった場合は

自動接続機能でインターネットへ接続している場合は、パソコンのソフトウェアや機器が自動的にインターネットへ接続している疑いがあります。また、ソフトウェアによっては、パソコンを起動しているだけで自動的に動作するものがあり、知らないうちに自動発信を繰り返している場合があります。放置すると、多額の通話料金になる場合がありますので、こまめに料金や通話記録を確認してください。

次のような場合は、特にご注意ください

- 本機を使い始める時
- 本機のプロバイダ接続設定を変更する時
- パソコンのダイヤルアップネットワーク設定を変更する時
- MP接続を設定する時
- Real Playerをインストールする時
- パソコンに新しいソフトウェアをインストールする時
- ネットワークに新しいパソコンやネットワーク機器、周辺機器などを接続する時
- 本機のファームウェアをリビジョンアップする時
- その他、いつもと違う操作を行ったり、通信の反応に違いを感じた時など

ご注意

- プロバイダ契約を解除または変更する時は、必ず本機の接続設定を削除または再設定してください。削除しないまま使っていると、回線業者やプロバイダから意図しない料金を請求される場合があります。
- MP接続に対応していないプロバイダに対して、MP接続の設定や発信は絶対に行わないでください。2チャンネル目が発信とエラーを繰り返して多額の料金を請求される場合があります。
- プロバイダ側の状態(アクセスポイントの変更、メンテナンス、障害など)によって予想外の通信料金がかかる場合がありますので、プロバイダからの告知情報には常に注意してください。
- ここで使用している画面や設定項目は、各ソフトウェアのバージョンにより内容が異なります。

通信記録を確認する

「料金と通信の記録」画面で確認する

「かんたん設定ページ」-「詳細設定と情報」-「料金情報の表示」画面で、各ポート毎の累積料金や累積接続時間、累積発信回数、累積着信回数を確認できます。

通信種別	発信の累積	着信の累積	発信回数	着信回数	手動クリア	自動クリアの実行日時
プロバイダ接続						
1[PP01] Provider PPPoE 自動接続先	0円 0円00:01:21	0円 0円00:00:00	1回	0回	クリア	使わない 01:00
LAN回線接続						
[PP02] popt_lan	0円 0円00:00:00	0円 0円00:00:00	0回	0回	クリア	使わない 01:00
アナログポート						
	0円 18円00:00:43	0円 0円00:00:00	3回	0回	クリア	使わない 01:00
合計	18円00:02:04	0円 0円00:00:00	4回	0回		
各アナログポートごとの料金情報						
TEL1ポート	0円 18円00:00:43	0円 0円00:00:00	3回	0回	クリア	使わない 01:00
TEL2ポート	0円 0円00:00:00	0円 0円00:00:00	0回	2回	クリア	使わない 01:00
合計	18円00:01:20	0円 0円00:00:00	3回	2回		
<input type="checkbox"/> 自動クリアの実行日時を一括して設定する						

プロバイダごとの累積料金や累積接続時間、累積発信回数、累積着信回数が表示されます。

ご注意

- 通信料金はISDN回線で接続している場合のみ表示されます。
- 通信料金はNTTから通知される料金を累積して表示しています。NTTから通知される料金は少数点以下が切り上げられたり、各種割引サービスやNTT以外の回線業者の料金が反映されないことなどにより、実際に請求される料金と異なる場合があります。あくまで目安と考えてください。

「通信履歴のレポート作成」画面で確認する

「かんたん設定ページ」→「詳細設定と情報」→「通信履歴のレポート作成」画面で、各ポート毎の通信履歴を確認できます。

日付	時刻	通信種別	通信時間	料金	切断コード	通信相手
1. 2005/06/09	00:32:45	PP[01]:PPPoE:発信	00:00:00			通信中 *
2. 2005/06/09	00:31:34	TEL/2:着信	00:00:12	0円	0	0000000000
3. 2005/06/09	00:31:34	TEL*:着信	00:00:00	0円	17	0000000000
4. 2005/06/09	00:31:30	TEL/1:発信	00:00:12	0円	0	0000000000
5. 2005/06/09	00:19:44	PP[01]:PPPoE:発信	00:12:57	0円		*
6. 2005/06/09	00:20:20	PP[01]:PPPoE:発信	00:11:56	0円		*
7. 2005/06/09	00:05:45	PP[01]:PPPoE:発信	00:00:01	0円	1000	*

発着信日付、発着信時刻、通信種別、通信時間、通信料金、切断コード、相手先の番号が新しい順に100件まで表示されます。通信種別がPPxxとなっている通信が、プロバイダ(またはLAN間接続相手)へ接続した通信です。

ご注意

- 通信料金はISDN回線で接続している場合にのみ表示されます。
- 通信料金はNTTから通知される料金を累積して表示しています。NTTから通知される料金は少数点以下が切り上げられたり、各種割引サービスやNTT以外の回線業者の料金が反映されないことなどにより、実際に請求される料金と異なる場合があります。あくまで目安とと考えてください。
- 通信履歴の情報は保存されないため、本機を再起動すると消えてしまいます。

ログ情報で確認する

「かんたん設定ページ」→「詳細設定と情報」→「本機のログ(syslog)のレポート作成」画面で、自動接続のきっかけになったアクセスの情報を確認できます。

意図しないアクセスが多いときは、Syslog表示の中で一番下から順に「IP Commencing」の行を探します。IP Commencing行のパソコンIPアドレスやアクセス先ホストのIPアドレス、アクセス時間(もしくは間隔)などを手がかりに、どのソフトウェア(または機器)がアクセス要求を出しているかを調べて、原因を探してください。

アクセス例1

PP[01] IP Commencing: UDP 192.168.100.1:53 > 133.176.200.100:53

(DNS Query [windowsmedia.com] form 192.168.100.2)

この例では、LAN内のパソコン(192.168.100.2)からDNSサーバインターネットのホスト(windowsmedia.com)のIPアドレスを調べる問い合わせ要求をきっかけに、プロバイダへの自動接続を開始しています。

アクセス例2

PP[01] IP Commencing : TCP 192.168.100.2:1311 > 133.176.200.200:80

- PP[01]: プロバイダ番号
- 192.168.100.2: パソコンのIPアドレス
- 133.176.200.200: アクセス先のIPアドレス

この例では、LAN内のパソコン(192.168.100.2)からインターネットのホスト(133.176.200.200)へのアクセス要求をきっかけに、プロバイダへの自動接続を開始しています。

原因になりやすい設定を確認する

不審なインターネットアクセスの原因になる設定項目には、次のようなものがあります。OSを使い始めるときや、新しいソフトウェアをインストールしたときは、以下の例を参考にして設定をご確認ください。

頻繁に発信している場合は

パソコンのネットワーク設定のDNS設定値を確認してください。

インターネット上のDNSサーバのIPアドレスが指定されていると、頻繁にアクセスする場合があります。

パソコンを起動するたびに発信している場合は

Windowsでアクティブデスクトップを使用している場合は、設定内容によって起動するたびにインターネットへ接続することがあります。また、パソコン起動時と同時に起動するソフトウェアがある場合は、[スタート]ボタンの[スタートアップ]項目を確認してください。スタートアップに登録されているソフトウェアの設定を確認し、自動アップデートなどの機能が有る場合は、設定を変更してください。

コントロールパネルの[画面]設定

WindowsのデスクトップにWebページを設定していると、パソコンを起動するたびにインターネットへ接続してWebページの内容を更新するため、パソコンを起動することに電話料金と通信料金がかかります。必要がなければ、設定を解除してください。

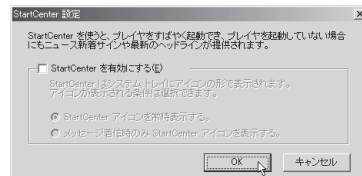
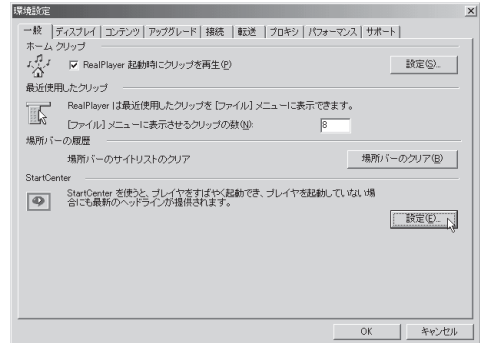


RealPlayerの環境設定

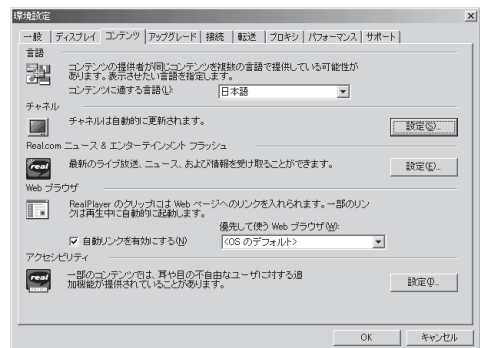
「環境設定」画面の[一般]タブにある[StartCenter]を有効にしていると、パソコンを起動するたびにインターネットへ接続して、[コンテンツ]タブで指定したチャンネルなどの最新情報が更新されます。

RealPlayerを起動しなくともこの動作は行われるため、パソコンを起動するごとに電話料金と通信料金がかかります。必要がなければ、設定を解除してください。

● [一般] タブ



● [コンテンツ] タブ



定期的に発信している場合は

- **1日に何回も発信している場合は:** Internet Explorerのチャンネルを購読している場合やWindows Updateを利用している場合、電子メールの自動送受信が設定されている場合などが考えられます。本機のLANに接続しているパソコンの、該当するソフトウェア設定を確認してください。
- **1日に数回以内の場合は:** ハードウェアのメンテナンスプログラムやNTPサーバ(インターネット自動時刻サーバ)の設定を確認してください。

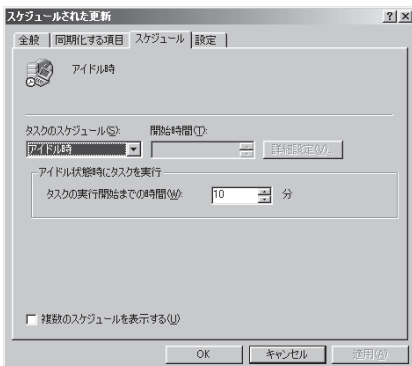
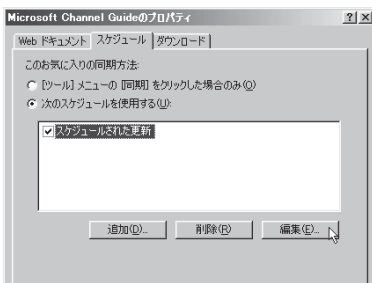
ホームページのバナー広告

バナー広告が掲載されているホームページでは、何も操作しなくても定期的に自動更新する場合があります。そのページを開いたままWebブラウザを放置すると、定期的にインターネットへアクセスし続け、そのたびに料金がかかります。見終わったらWebブラウザを閉じることで、不要なアクセスを防ぐことができます。

購読チャンネルのプロパティ

Internet Explorerのチャンネルを購読している場合は、プロパティで指定した間隔で、チャンネル内容の更新のためインターネットへ接続するため、そのたびに料金がかかります。購読する場合は更新間隔をよく確認してお使いください。

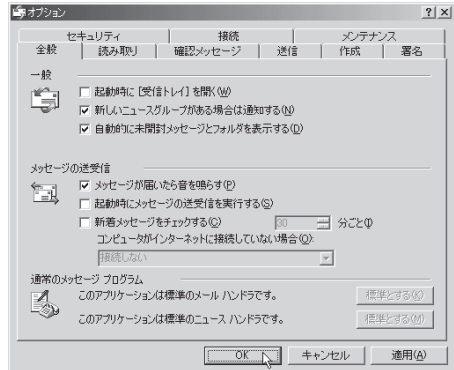
不要な場合は、設定を解除してください。



Outlook Expressの[オプション]設定

Outlook Expressなどの電子メールソフトウェアには、新着メールを定期的に確認する機能があります。この機能を利用している場合は、定期的にインターネット上のメールサーバにアクセスするため、そのたびに料金がかかります。この機能を利用する場合は、確認する頻度を十分考慮してください。

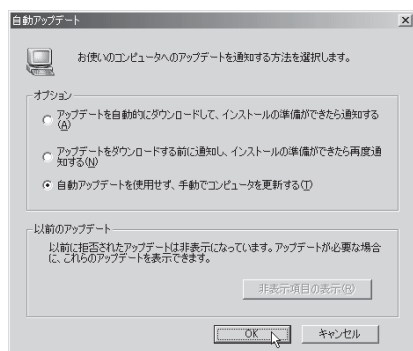
必要なければ設定を解除して、手動でメールを確認するようにしてください。



OSの自動アップデート機能

Windows MeやMacOS 9以上の場合、OSの自動アップデート機能があります。この機能を利用している場合は、定期的にインターネットのサーバにアクセスし、そのたびに料金がかかります。

不要であれば、[コントロールパネル]の[自動アップデート](MacOS 9は[ソフトウェア・アップデート])を開き、設定を手動更新に変更してください。

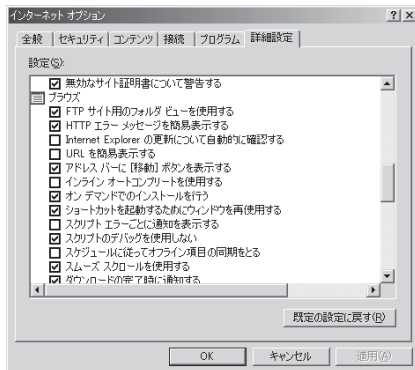


ソフトウェアを起動するたびに発信している場合は

インストールしたソフトウェアの環境設定(初期設定)を確認して、自動アップデートなどの機能が有る場合は、設定を変更してください。

Internet Explorerの[インターネットオプション]設定

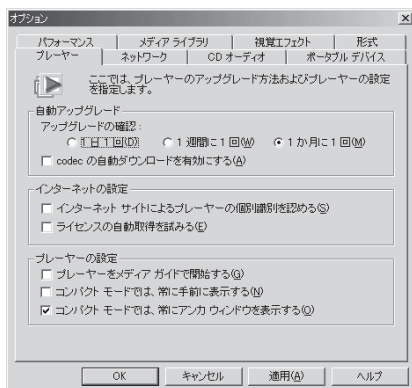
Internet Explorerの自動アップデート機能を利用している場合は、Internet Explorerを起動するたびにインターネットへ接続するため、そのたびに料金がかかります。不要であれば設定を解除してください。



Windows MediaPlayerの環境設定

Windows MediaPlayerをインストールすると、MediaPlayerを開くたびにガイドページの情報を得るためにインターネットへ接続するため、そのたびに料金がかかります。

必要なければ、「オプション」画面の[プレーヤー]タブの[プレーヤーをメディアガイドで開始する]のチェックを外すと、アクセスを防げます。

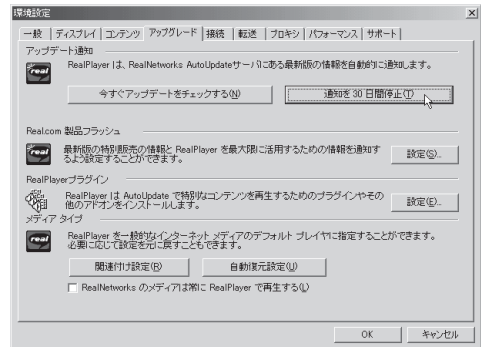


また、[プレーヤー]タブの[自動アップグレード]で[1か月に1回]を選ぶと、アクセス回数を減らすことができます(完全に解除することはできません)。

RealPlayerの環境設定

RealPlayerをインストールすると、アップグレード情報を得るためにRealPlayerを開くたびにインターネットに接続するため、そのたびに料金がかかります。

必要なければ、[アップグレード]タブの[通知を30日間停止]をクリックすると、30日間はアクセスしなくなります。アクセスしない日数がカウントダウンされますので、ときどきチェックして[通知を30日間停止]をクリックしてください(完全に解除することはできません)。



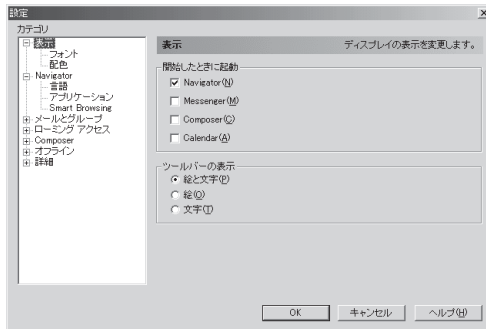
また、Real.com製品情報がチェックされていると、製品情報を得るためにRealPlayerを開くたびにインターネットに接続するため、そのたびに料金がかかります。必要なければ設定を解除してください。

Q6 通信料金に異常がある

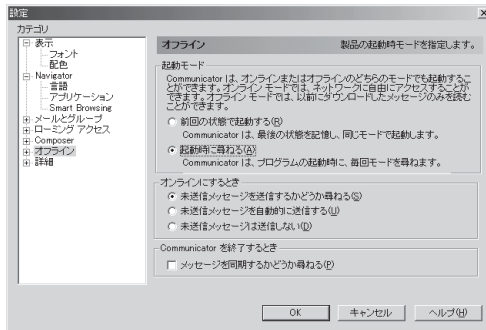
Netscape Communicatorの設定

Netscape Messengerの画面を開くときにNetscapeの広告ページを表示しようとしてインターネットに接続するため、そのたびに料金がかかります。

Netscape Messenger以外の電子メールソフトウェアを使用する場合は、[開始したときに起動]の設定で、Messengerのチェックをはずしてください。



Netscape Messengerを使っている場合や、意図しない接続を止めたい場合は、[オフライン]の[起動モード]を[起動時に尋ねる]に設定し、オフラインで起動してください(自動的にオフラインで起動する設定はありません)。



Q6 パスワードを忘れてしまった

次の方法で再設定します

1 本機のPOWER(電源)スイッチをいったん「OFF」にして電源を切り、しばらくしてから「ON」にして本機の電源を入れる。

2 本機の起動が完了するのを待つ。

3 本機背面のINITスイッチを10秒以上押し続ける。

パスワードなしで「かんたん設定」画面にアクセスできるようになります。

4 10分以内に、新しいパスワードを登録する。

詳しくは「活用マニュアル」(別冊)の「本機へのアクセスを制限する」(94ページ)をご覧ください。

ご注意

- INITスイッチを押す操作は、電源投入後1回しか行うことができません。
- INITスイッチを押す操作は、password reenter コマンドにより無効にすることができます。詳しくはコマンドリファレンスをご覧ください。

Q6 最新情報の 入手先は？

本機に関する最新情報は、インターネットのホームページで入手できます。設定に関する初歩的な情報からルータの専門的な情報まで、それぞれの目的別に用意していますので、十分ご活用ください。

RTシリーズのホームページ

RTシリーズのルータに関する最新情報やルータの技術情報、高度な利用方法などをご覧いただけます。

<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/>

Q6 本機の保証サー ビスについて

本機や本機の付属品に不良があった場合は、すぐにご購入の販売店へご連絡ください。また、通常のご使用で故障が発生した場合は、保証期間中は無償にて修理いたします。ご購入の販売店またはヤマハサービス窓口へご連絡ください。また保証期間後は、有料にて修理いたします。

なお、保証期間中の修理には、保証書が必要です。ご購入時に「お買い上げ年月日」と「販売店名」の記入をご確認の上、保証書をお受け取りください。保証書がない場合は、保証期間内であっても有料となります。

保証期間:ご購入から1年間

Q6 サポート窓口のご案内

お問い合わせの前に

本書をもう1度ご確認ください

本書をよくお読みになり、問題が解決できないかどうかご確認ください。本機に付属の設定マニュアルや活用マニュアルも、あわせてご覧ください。

ログ情報や設定情報をご確認ください

お客様のルータの状態を把握するために、弊社の担当者がログ(Syslog)情報や設定(config)情報を確認させていただくことがあります。特に電子メールでお問い合わせの際は、ログ情報や設定情報を問題の症状とあわせてお知らせいただくことで、問題の解決が早まる場合があります。

ログ情報や設定情報は、以下の方法でご確認ください。

- 1 パソコンでWebブラウザを起動して、ファイルメニューの[開く]を選ぶ。**
「ファイルを開く」画面が表示されます。
- 2 「http://192.168.100.1/」と半角英字で入力してから、[OK]をクリックする。**
トップ画面が表示されます。
- 3 [詳細設定と情報]をクリックする。**
詳細設定と情報」画面が表示されます。
- 4 ログ情報を確認したいときは「本機のログ(Syslog)のレポート作成」、設定情報を確認したいときは「本機的全設定(config)のレポート作成」の[実行]をクリックする。**
本機のログ表示または全設定情報が表示されません。

お問い合わせ窓口

本機に関する技術的なご質問やお問い合わせは、下記へご連絡ください。

ネットボランタコールセンター

TEL:03-5715-0350

NetVolanteインターネット電話番号

TEL:##62594341

(日・祝日を除く9時~12時、13時~17時)

お問い合わせページ

<http://NetVolante.jp/>

切断コード一覧

0 通信中または正常切断

1 欠番

存在しない番号に発信した。相手先番号に間違いがある。

2 指定中継網へのルートなし

相手先番号への中継網が存在しないかサービスを提供していない。相手先番号に間違いがある。

3 相手へのルートなし

網が相手先番号へ着信を受け付けない。相手先番号に間違いがある。

6 チャンネル利用不可

選択したBチャンネルが使用できない。すでに2つのBチャンネルが使用されている可能性がある。

16 正常切断

17 着ユーザビジー

発信した相手がすでに他の端末と通信中で通信できない。相手が話中。

18 着ユーザレスポンスなし

発信したが規定時間内に何の反応も返ってこなかった。相手の電源が切れているか、相手先番号が間違っている可能性がある。

19 着ユーザ呼出中／応答なし

発信した相手から呼出(ALERT)による反応があったが、その後規定時間内に応答の反応がなかった。相手が電話を取れない状況にあるか、相手先番号が間違っている可能性がある。

20 加入者不在

移動局と無線交信を行なえない。相手の携帯電話などの電源が入っていないか圏外にいる。

21 通信拒否

何らかの理由で相手端末が着信を拒否した。ISDN関係のパラメータの不整合があるか、相手先番号が間違っている可能性がある。

また、相手側が着信可能な設定になっているか確認する。

22 相手加入者番号変更

相手の番号が変更されている。相手先番号に間違いがある。

26 選択されなかったユーザの切断復旧

着信に対して応答したが、他の端末の方が早く応答しており、自端末の応答は選択されなかった。

27 相手端末故障中

相手端末の電源OFFや故障、回線抜けなどにより相手インタフェースの起動不可。通信中に電源をいきなり落した時など。

28 無効番号フォーマット(不完全番号)

相手先番号に間違いがある。

30 状態問合せへの応答

網からの状態問合せに対する応答を示す。

31 その他の正常クラス

34 利用可回線／チャンネルなし

利用可能な回線／Bチャンネルがない。すでに2つのBチャンネルが使用されている可能性がある。

38 網故障

網に比較的長時間続きそうな障害が発生した。しばらく使用を見合わせる必要がある。

41 一時的失敗

網に比較的長時間続きそうもない障害が発生した。再発信で接続できる可能性がある。

42 交換機輻輳

網に障害(交換機が高トラフィックで輻輳)が発生した。しばらく使用を見合わせる必要がある。

43 アクセス情報廃棄

網が要求されたアクセス情報を相手に届けることができなかった。しばらく使用を見合わせる必要がある。

44 要求回線／チャンネル利用不可

要求した回線／Bチャンネルが相手側のインタフェースで提供できない。すでに2つのBチャンネルが使用されている可能性がある。

47 その他のリソース使用不可クラス

49 QOS(サービス品質)利用不可

要求されたQOS(Quality Of Service)が提供されない。(RT/RTAでは通常表示されない)

50 要求ファシリティ未契約

要求された付加サービスが提供されない。付加サービスに契約せずに、端末に付加サービスの設定がされている可能性がある。

57 伝達能力不許可

許可していない伝達能力が要求された。(RT/RTAでは通常表示されない)

58 現在利用不可伝達能力

利用不可である伝達能力が要求された。(RT/RTAでは通常表示されない)

63 その他のサービスまたはオプションの利用不可クラス

65 未提供伝達能力指定

サポートしていない伝達能力が要求された。(RT/RTAでは通常表示されない)

66 未提供チャンネル種別指定

サポートしていないチャンネル種別が要求された。(RT/RTAでは通常表示されない)

69 未提供ファシリティ要求

提供していない付加サービスが要求された。(RT/RTAでは通常表示されない)

70 制限デジタル情報伝達能力のみ可能

非制限デジタルを要求されたが、制限デジタルのみサポートしている。(RT/RTAでは通常表示されない)

79 その他のサービスまたはオプションの未提供クラス

81 無効呼番号使用

使用中のものとは異なる呼番号のメッセージを受信した。(RT/RTAでは通常表示されない)

82 無効チャンネル番号使用

使用できないチャンネル番号を要求した。(RT/RTAでは通常表示されない)

83 指定された中断呼識別番号未使用

中断された呼と異なる呼番号で再開しようとした。(RT/RTAでは通常表示されない)

84 中断呼識別番号使用中

再開の可能性がある呼に対して中断を要求した。(RT/RTAでは通常表示されない)

85 中断呼なし

再開の可能性のある呼以外の呼に対して再開を要求した。(RT/RTAでは通常表示されない)

86 指定中断呼切断復旧済

すでに切断した呼に対して再開を要求した。(RT/RTAでは通常表示されない)

88 端末属性不一致

端末属性が一致しない端末に発信した。またはそのような端末からの着信を受け取った。

相手先番号が間違っている可能性がある。例えば、自側が同期PPPで相手側がアナログモデムの場合のように、双方での端末属性の設定に不一致がある。

91 無効中継網選択

誤ったフォーマットの中継網識別を受信した相手先番号が間違っている可能性がある。

95 その他の無効メッセージクラス

96 必須情報要素不足

必要な情報要素が不足していた。不正な相手からの着信を受け取った。(RT/RTAでは通常表示されない)

97 メッセージ種別未定義または未提供

認識できないメッセージを受信した。不正な相手からの着信を受け取った。(RT/RTAでは通常表示されない)

98 呼状態とメッセージ不一致又は、メッセージ種別未定義又は未提供

網との間で状態の不一致が発生した。ルータを再起動する必要がある。

99 情報要素未定義

未定義の情報要素を受信した。(RT/RTAでは通常表示されない)

100 情報要素内容無効

情報要素の内容に誤りがある。(RT/RTAでは通常表示されない)

101 呼状態とメッセージ不一致

網との間で状態の不一致が発生した。ルータを再起動する必要がある。

102 タイマ満了による回復

レイヤ3でのタイムアウトが発生した。

111 その他の手順誤りクラス

127 その他のインタワーキングクラス

112 L2リンクの設定に失敗した

モジュラーケーブルの接続などを確認する必要がある。

545 相手が呼出中のまま応答せずにタイムアウトした

相手先番号が間違っている可能性がある。

548 コールバック手順に成功して相手からコールバックされるのを待っていたがタイムアウトした

相手先番号が間違っている可能性がある。

549 コールバック手順の中でタイムアウトした

相手先番号が間違っている可能性がある。

552 切断タイマ (isdn disconnect time) による切断

正常切断。

553 出力切断タイマ (isdn disconnect output time) による切断

正常切断。

554 入力切断タイマ (isdn disconnect input time) による切断

正常切断。

555 Fast Data 切断タイマ (isdn fast disconnect time) による切断

正常切断。

556 強制切断タイマ (isdn forced disconnect time) による切断

正常切断。

769 コールバックの応答がなかった

コールバック手順での問題。相手先番号が間違っている可能性がある。

770 コールバックの応答に失敗した

コールバック手順での問題。相手先番号が間違っている可能性がある。

772 回線コネクタ抜けにより発信失敗**774 再発信禁止条件により発信失敗**

しばらくしてから再発信すれば接続できる。

780 累積課金による発信制限により発信失敗

通信履歴などで「意図しない接続」が行なわれていないことを確認後累積課金情報をクリアする。

781 累積接続時間による発信制限により発信失敗

通信履歴などで「意図しない接続」が行なわれていないことを確認後累積接続時間情報をクリアする。

782 累積発信回数による発信制限により発信失敗

通信履歴などで「意図しない接続」が行なわれていないことを確認後累積発信回数情報をクリアする。

817 PPTP制御手順エラー

トンネルが確立されていないのに発呼要求や着呼要求を受信した。トンネルを確立しているルータ間でそれぞれサーバ、クライアントの設定になっているか確認する。

818 PPTP制御パケットのフォーマット誤り

接続相手に対応している機種か確認する。

819 PPTP制御パケットの内容誤り

接続相手に対応している機種か確認する。

820 PPTP内部リソース不足

RT/RTAでは通常表示されない。

821 PPTP Call ID エラー

PPTP呼制御パケットの識別ID不一致。接続相手に対応している機種か確認する。

822 PPTPサーバのその他のエラー

サーバ側(PAC)で起こったエラー。接続相手に対応している機種か確認する。

823 PPTPクライアントのその他のエラー

クライアント側(PNS)で起こったエラー。接続相手に対応している機種か確認する。

824 TCPレスポンス待ち

TCPのレスポンス待ち。接続相手先のホスト名またはIPアドレスを確認する。

825 TCPレスポンス待ちタイムアウト

TCPのセッション要求に対する応答がない。接続相手先が正しいかどうか確認する。

826 相手応答なし

接続相手先からの応答がない。接続相手先が正しいかどうか確認する。

827 トンネル切断タイマタイムアウト

PPTPトンネル中にデータパケットがない状態が続き、切断した。常時接続にしたい場合は、トンネル切断タイマをOFFにして、キープアライブをONにする。

828 キープアライブ失敗

接続相手先からの応答がなく、検出回数を越えたので切断した。接続相手先の状態を確認する。

848 PPPoE接続でサーバによりサービスを拒否された

要求したサービスがサーバにより拒否された。(RT/RTAでは表示されない)

849 PPPoE接続でサーバによりサービスを拒否された

サーバが高トラフィックで輻輳している可能性がある。

850 PPPoE接続で回復不能なエラーが発生した

ログに表示された理由のエラーが発生した。

851 PPPoE接続でPADIタイムアウト

接続先にサーバが存在しない。または、サーバまでの区間の回線状態が良くない可能性がある。

852 PPPoE接続でPADRタイムアウト

サーバまでの区間の回線状態が良くない可能性がある。

853 PPPoE同時接続数オーバー

同時接続数を越えて接続しようとした。

1025 PIAFS接続でネゴシエーション失敗

相手がPIAFSに対応していないか、または無線区間を含む回線状態が良くない可能性がある(相手と本機の間で、PIAFSの起動方式が一致していない可能性がある)。

1026 PIAFS接続でRTFが範囲を超えている

相手がPIAFSに対応していないか、または無線区間を含む回線状態が良くない可能性がある。

1027 PIAFS接続でT001タイムアウト

相手がPIAFSに対応していないか、または無線区間を含む回線状態が良くない可能性がある(相手と本機の間で、PIAFSの起動方式が一致していない可能性がある)。

1028 PIAFS接続でT002タイムアウト

相手がPIAFSに対応していないか、または無線区間を含む回線状態が良くない可能性がある(相手と本機の間で、PIAFSの起動方式が一致していない可能性がある)。

1029 PIAFS接続でT003タイムアウト

相手がPIAFSに対応していないか、または無線区間を含む回線状態が良くない可能性がある(相手と本機の間で、PIAFSの起動方式が一致していない可能性がある)。

1030 PIAFS接続でT101タイムアウト

相手がPIAFSに対応していないか、または無線区間を含む回線状態が良くない可能性がある。

1031 PIAFS接続でリンク解放受付K回送出済

相手がPIAFSに対応していないか、または無線区間を含む回線状態が良くない可能性がある。

1281 PPP手順においてLCPタイムアウト

設定誤りの可能性がある。

1282 PPP手順においてIPCPタイムアウト

設定誤りの可能性がある。

1285 PPP手順においてIPV6CPタイムアウト

設定誤りの可能性がある。

1296 コールバックによる接続が拒否された

設定誤りの可能性がある。

1297 相手による認証が拒否された

設定誤りの可能性がある。

1298 自分が認証を拒否した

設定誤りの可能性がある。

1299 相手の認証に失敗した

設定誤りの可能性がある。

1300 相手に認証させるのに失敗した

設定誤りの可能性がある。

1301 相手に認証させるのに失敗した回数が多すぎるため発信できない

設定誤りの可能性がある。

1302 相手の認証でタイムアウトした

設定誤りの可能性がある。

1303 相手に認証させるのにタイムアウトした

設定誤りの可能性がある。

1304 MPIに失敗した回数が多すぎるため発信できない

設定誤りの可能性がある。

1305 LCPキープアライブによる発信に失敗した

PPPoEサーバがダウンしているか、PPPoEサーバまでの回線のどこかに問題がある可能性がある。

1306 暗号化失敗による着信拒否

MPPEのネゴシエーションで暗号化が成立せずに着信拒否した。相手先が暗号化ありの設定になっているか確認する。

3001 着ユーザ名前異常

相手SIPアドレスのホスト名の名前解決に失敗した。相手SIPアドレスが間違っているか、DNSサーバが停止している可能性がある。

3002 経路なし

相手とVoIP通話をするための経路がない。インターネットに接続されていない可能性がある。

3003 着ユーザなし

相手SIPアドレスの宛先が存在しない。相手SIPアドレスの設定が間違っている可能性がある。

3017 着ユーザビジー

発信した相手がすでに他の端末と通信中で通信できない。相手が通話中。

3018 着ユーザレスポンスなし

発信したが規定時間内に何の反応も返ってこなかった。相手の電源が切れているか、相手SIPアドレスが間違っている可能性がある。

3019 着ユーザ呼出中/応答なし

発信した相手から呼出(180 Ringing)による反応があったが、その後、一定時間内(3分)に応答の反応がなかった。相手が電話を取れない状況にあるか、相手SIPアドレスが間違っている可能性がある。

3021 着ユーザ拒否

何らかの理由で相手端末が着信を拒否した。相手SIPアドレスが間違っている可能性がある。また、相手側が着信可能な設定になっているか確認する。

3027 相手端末故障中

相手端末の故障などにより相手インタフェースの起動不可。相手端末障害により相手端末で着信が出来ない状態になっている可能性がある。

3028 設定間違い

相手SIPアドレスが長すぎる。相手SIPアドレスの設定が間違っている可能性がある。

3034 VoIP通話用利用可ポート無し

VoIP通話に使用するポートが確保できなかった。すでにインターネット電話用の全てのポートが使用されている。

3057 メディア不一致

相手と通話するための方式が違う。相手が音声通話が出来ない製品の可能性がある。

3101 機器エラー

本機内部でエラーが発生した。本機がおかしな状態になっている可能性がある。

3102 自分宛

本機に発信しようとした。自分宛には発信できない。

3200 その他のVoIP通話機能のエラー

4001~4127 PBXポートのBRIコネクタに問題がある

PBXインタフェース側に起因する、TTC標準JTQ850 (JT-Q931)理由表示情報要素(1~111、127)に4000を加算した値が切断コードとして表示される。

例えば切断コード「4034」の場合は、「PBXインタフェース側に起因する、利用可回線/チャンネルなし」という問題がある。

4128 PBXポートのコネクタ抜け

モジュラーケーブルの接続を確認する必要がある。

4129 PBXインタフェースのL2エラー

モジュラーケーブルの接続、またはPBXの設定を確認する必要がある。

4130 PBXインタフェースのL3エラー

モジュラーケーブルの接続、またはPBXの設定を確認する必要がある。

4131 PBXインタフェースのL3タイマの満了による切断復旧

モジュラーケーブルの接続、またはPBXの設定を確認する必要がある。



● ネットボランچコールセンター

TEL 03-5715-0350

NetVolante インターネット電話番号

TEL ##62594341

日・祝日を除く9時～12時、13時～17時

お問い合わせページ <http://NetVolante.jp/>

WC30910



この取扱説明書は大豆油インクで印刷しています。

この取扱説明書は無塩素紙(ECF: 無塩素紙漂白パルプ)を使用しています。